

CLOSE UP

美肌への治療に加え、入院を伴う美容手術にも取り組む

総合病院で受けられる信頼性の高い施術で しみやしわ、体の大きなたるみなどを治療

海老名メディカルサポートセンター 美容医療センター

感染予防に配慮した タミータックなどの手術

海老名総合病院の附属施設である海老名メディカルサポートセンターでは美容医療センターを設置。審美的な治療の盛んなアメリカのビバリーヒルズで開業するアレックス・キム医師を顧問とし、外見の悩みを抱える患者に、数々の審美的な治療を行っている。

「総合病院の施設による治療を行うことで、患者さんが不安を感じることなく治療を受けていただけます」と語るのは美容医療センター長の島中弘輔医師。治療には手術を要するものもあるが、その際には感染予防に配慮された海老名総合病院の手術室を使用。手術後も看護体制の整った病室に入院できる。これにより、出産後の体型の崩れや、重度の肥満を改善

した後の皮膚のたるみに対して有用な、タミータックという大掛かりな手術も可能にする。「タミータックは、手術で腹部の余分な皮膚と脂肪組織を切除し、腹筋を引き締める治療です。全身麻酔下で筋弛緩剤を用いるため、手術室と入院設備がなければ行えません」と、白井洋医師は説明する。また、顔や首のたるんだ皮膚を引き上げるフェイスリフトなどの美容外科手術も信頼性の高い治療が目指せる。フェイスリフトは髪の毛を数cm切開するだけの傷が目立たない手術も可能だ。

レーザーを中心とした 美容皮膚科治療

同院の患者層の多くは中高年の女性。その年代に多く見られる肌の悩みに対応するため、レーザーを中心とした美容皮膚科治療にも力を



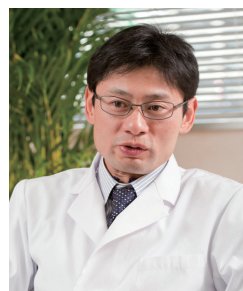
エステなどに用いる専用の部屋



4人のスタッフが医師をサポート。スタッフはエステも担当する



受付と待合室は落ち着いた雰囲気



島中弘輔 美容医療センター長
しまなかひろふし ●東京医科大学医学部卒業、東京医科大学形成外科助手などを経て2004年に海老名総合病院へ赴任。日本形成外科学会認定形成外科専門医など



白井洋 医師
うすいひろし ●東京大学医学部卒業。東京大学医学部附属病院外科などを経て、2008年に海老名総合病院に赴任。医学博士

入れる。「当院で多くの方に行っているのがシミに対するQスイッチルビレーザーです。保険が適用される先天性の太田母斑や扁平母斑の治療も行います」と白井医師。ほかにも、ホクロに対する炭酸ガスレーザー、肝斑などのシミにきび赤ら顔のようなトラブルに対処できる治療など、幅広い治療を提供する。

さらには、眉間のしわに対するボトックス注射や、顔の

しわ・くぼみへのファイバー注射などの注射による治療も実施。治療にかかわるスタッフも専用のトレーニングを受けているという。

「当院では、審美的な治療に対する敷居の低さを心がけています。悩みがあれば気軽に相談にきてください」と島中医師は語る。

取材／鈴木健太

海老名メディカルサポートセンター 美容医療センター

診療時間：平日 9:00～17:00 / 土 9:00～12:00
休診日：日・祝
〒243-0433 神奈川県海老名市河原口 1519
TEL.046-233-8308
<http://biyo.jinai.jp/>

※タミータック、フェイスリフト、Qスイッチルビレーザー、炭酸ガスレーザー、ボトックス注射は自由診療です。費用はタミータックが90万円、フェイスリフトが50万円、Qスイッチルビレーザーが1cmあたり1万円程度(症例により異なります)、炭酸ガスレーザーがホクロ1個5000円程度(症例により異なります)、ボトックス注射が1箇所4万7250円